

2008年10月1日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 当社施設が第10回ブルネル賞（2008年度）受賞

第10回ブルネル賞において、当社からの応募作品のうち、「旅客トイレ整備」が優秀賞、「宝積寺駅」、「異常時案内用ディスプレイ」の2作品が推薦賞を受賞しました。表彰式は9月30日にオーストリアのウィーンで開催されました。

### 当社施設の受賞作品

部門	受賞	所在地
2. グラフィック(サイン、産業デザイン、広告、制服、乗車券など)	(優秀賞) 旅客トイレ整備	東京都品川区他
1. 建築(停車場、中小規模の駅、改装・改築、こ線橋など)	(推薦賞) 宝積寺駅	栃木県高根沢町
2. グラフィック(サイン、産業デザイン、広告、制服、乗車券など)	(推薦賞) 異常時案内用ディスプレイ	東京都新宿区他

### 旅客トイレ整備



### 宝積寺駅



### 異常時案内用ディスプレイ



### 3作品のデザインコンセプト

#### 「旅客トイレ整備」

今までマイナスイメージであった駅のトイレをプラスのイメージに転換することで、それが駅全体のイメージに波及する考え、徹底的に整備することとしました。どの駅も同じで分かりづかったトイレのファサードをデザインし個性を持たせることで視認性を高め、より入りやすさを演出しました。

#### 「宝積寺駅」

駅舎の天井は木を格子状に組んだものとし、壁には木毛セメント板を採用し、つくり方と素材で地産の産物である大谷石の特性と結びつくように、「多孔性」をテーマとしたデザインにしました。

#### 「異常時案内用ディスプレイ」

お客さまにごく短時間で運行状況の概要を掴んでいただくことを実現するため、すべての運行情報が1画面でわかるように大型ディスプレイを用いて、路線図と文字情報によるグラフィカルな表示にしました。

受賞理由の主旨は以下の通りです。

「旅客トイレ整備」

メンテナンスの必要性和デザインの美しさが共存している。

必要であっても今まで誰も手を付けてこなかった分野である。

「宝積寺駅」

伝統的な日本の美しさが表現された駅。折り紙を印象付ける。

「異常時案内用ディスプレイ」

すばらしいシステムである。画面も大きく、どこで何が起きているか一目で分かる。

#### 参考

1. 当社施設の過去のブルネル賞受賞作品は以下のとおりです。

建築部門での受賞は1996年(第6回)の磐城塙駅、2005年(第9回)のさいたま新都心駅が推薦賞を受賞して以来、グラフィック部門では1989年(第3回)に「駅からマップ」が優秀賞受賞、2005年(第9回)にフルカラーLEDが推薦賞受賞、車両部門では1992年(第4回)優秀賞を受賞した成田エクスプレスなどの受賞歴があります。

2. ブルネル賞について

ブルネル賞(Brunel Award)は、世界約20カ国の鉄道デザイン担当者が集まるワトフォード・グループが設けている賞で、著名な鉄道デザイン国際コンペです。